

圏域	実施予定日	構成員	訓練内容	結果及び課題	市町名	訓練内容
阪神南	3月23日	病院関係者、保健所職員 14名	1 PPE着脱訓練:ビデオ視聴と着脱訓練の実際 2 机上訓練:シナリオに沿って、実施 3 搬入経路確認:全員で救急外来にて搬入経路の確認 4 意見交換:疑問点の確認、改善点等について意見交換	①基本的な事項(医療体制、相談体制等)の概要について事前説明を行ったことで、スムーズに訓練に移ることができた。 ②昨年度も管内病院関係者と訓練を実施しているが、自院が専用外来であるというの認識がない等、誤解している点があった。継続して毎年度、確認作業が必要。	芦屋市	
					尼崎市	
					西宮市	感染症対応個人防護服着脱訓練、及び搬送訓練
阪神北	6月21日	三田市民病院、兵庫中央病院、平島病院等、三田市医師会、三田市、宝塚健康福祉事務所 計42名	①防護服着脱訓練 パワーポイントを用いて看護師が実際に着脱を行う ②実地訓練 県内発生早期を想定した事例について、相談センターから専用外来への連絡や受け入れについて動線を確認	①実際に動線を確認することで、医師、看護師だけでなく、検査部門や事務部門も含めて対応を検討できた ②県内発生早期を想定した訓練であるが、県内感染期の対応についても準備していく必要がある	宝塚市	市関係部署との連絡訓練
					三田市	
					伊丹市	各発生段階ごとの具体的対応策の検討及び確認
阪神北	9月1日	市医師会、市薬剤師会、管内医療機関、伊丹市消防本部、伊丹市、川西市、伊丹健康福祉事務所 計46名	・伝達訓練(図上訓練) 伊丹市では、相談窓口を設置し市民から新型インフルエンザの症状や受診方法、生活相談について対応 発熱や呼吸器症状を有する者から一般医療機関に電話連絡が入る。 ・患者調査・受入訓練 健康福祉事務所における患者調査や市立伊丹病院での受入等の確認	①伊丹市内で初めての訓練であり、参加者全員が関心を持って参加した。伊丹市内の新型インフルエンザ対策の出発点になった。特に、市立伊丹病院の院内体制整備をすすめるきっかけになった。 ②専用外来医療機関は実際に即した複数の患者が同時に来院した場合の広さや対応等の要検討。 24時間体制での連携方法システムについて「新型インフルエンザ等発生時間関係機関連絡窓口(H29年11月作成)」の更新と周知	川西市	
					猪名川町	
神戸	10月31日	保健所職員 計 43人	1. 防護服着脱のビデオ視聴とPPE着脱訓練を実施 2. 防疫手・衛生監視員による家屋消毒訓練を実施 3. 訓練の疑問点の確認、改善点等について意見交換	新型インフルエンザも含め、実際に一類、二類感染症の患者の移送、消毒に従事する職員で実施するため、実際の手順と流れ、役割分担を職員間で確認できた。今後は神戸検疫所だけでなく、患者対応にあたる市内医療機関とも連携して訓練を行うことが必要である。	神戸市	危機管理室・保健所予防衛生課所管で、講義及び問答形式により構成し、「神戸市の初動対応」について、時系列に沿って確認を行う机上訓練を、平成30年12月14日実施。
	11月14日	保健所職員、監視事務所職員、神戸検疫所 計 15人	1. 防護服着脱デモンストレーション後、移送班による防護服の着脱訓練および搬送車への患者の移送訓練を実施 2. 患者移送後の搬送車の消毒手順の確認			
東播磨	12月15日	病院 医師会 消防署 市町 加古川健康福祉事務所・あかし保健所 等 計121名	地域発生早期に専用外来となる明石市立市民病院のロビーと感染症外来で実施。 (1)机上訓練 コールセンター及び相談センターにおける電話相談への対応 (2)実働訓練 トリアージ及び外来患者対応訓練(4パターン)	①考慮した点 ・実地訓練についてライブ中継し、ロビーで映像を見れる方法をとつたため、見学者全員が訓練内容を確認することができた。 ・患者想定に小児も含め、また、症状や受診方法等について4パターンを想定し実施し、患者搬送や検体回収など、医療機関等関係機関と保健所の連携について確認ができた。 ・あかし保健所所有の防疫車・アイソレーターを使用したことで、患者搬送のイメージができた。 ②課題 ・さらに様々なケースについてどのように対応していくかの検討が必要。妊婦や透析患者の対応についても今後の検討が必要である。 ・平日の一般診療時間帯に同様の対応ができないことも要検討。	加古川市	
					高砂市	関係部署との連絡訓練
					稲美町	
					播磨町	
					明石市	地域感染早期を想定し訓練、医療現場での実働訓練および机上訓練を実施
北播磨	3月4日	【北播磨県民局】 総務企画室 総務防災課 1名 加東健康福祉事務所 企画課 1名 健康管理課 5名	(1)新型インフルエンザ等対策の概要について情報提供 ①季節性インフルエンザと新型インフルエンザの出現時期と鳥インフルエンザ ②新型インフルエンザの出現時期と鳥インフルエンザ ③新型インフルエンザ対策 ④兵庫県・県民局の体制 ⑤医療体制とこれまでの医療機関における訓練の実施状況 (2)実地訓練1 陰圧テント設置・収納訓練 ①陰圧テントの設置・収納方法の説明 ②陰圧テント設置・収納実習 (3) ①個人防護具着脱訓練	①新型インフルエンザの基礎知識を習得し、県民局の体制について確認した。 ②保健部門のみでなく庁内全体で取り組む必要がある。	小野市	庁内関係部署との連絡訓練
					加東市	市役所内での対処方針、対応手順の確認(机上訓練)
					西脇市	
					多可町	
					三木市	
中播磨	2月28日	神崎総合病院、神崎郡医師会、神崎郡内病院及び有床診療所、各町防災担当及び保健担当、姫路市消防本部(中播消防)、県民センター防災担当、中播磨健康福祉事務所 39名	① 兵庫県新型インフルエンザ等行動計画の概要及び訓練概要の説明(説明者:健康福祉事務所) ② 通報(情報伝達)訓練 ・健康福祉事務所 → 神崎総合病院 ・健康福祉事務所 → 神崎郡医師会 ・健康福祉事務所 → 平野病院、2有床診療所 ③ 神崎総合病院における患者の入院受け入れ体制構築訓練 ④ 意見交換会	①新型インフルエンザが地域流行期への移行訓練は、初めての試みであった。関係機関がその役割を理解し、地域での医療体制が崩壊しないように役割分担することの必要性が確認できた。また、病院の体制構築についても、BCPの考え方に基づくアクションカードの使用で確認できた。 ②新型インフルエンザの発生には、多くの機関が医療体制が崩壊しないよう協力が必要であるが、すでに神崎総合病院に入院している患者の在宅治療への移行には高いハードルがあり、地域の訪問看護ステーションや社会福祉施設の協力が必要と考えられ、今後、訓練範囲を広げていく必要があると考えられる。	加西市	
					姫路市	
					市川町	
					福崎町	
					神河町	
西播磨	10月31日	新型インフルエンザ等対策訓練 ・赤穂市民病院 ・各医師会 ・外来協力医療機関 ・龍野・赤穂健康福祉事務所 など 計67人	①新型インフルエンザ発生時、又、発生に備えた課題等をグループ討議形式で意見交換し、新型インフルエンザに関する知識、意識の向上を図る。 ②新型インフルエンザから身を守り、院内感染対策の徹底を図るため、専用外来職員や専用外来以外の医療機関職員(希望者)に防護服の着脱訓練を行う。	①専用外来、開業医、消防など、様々な立場や考え方で課題解決に向けた意見交換ができた。 ②学校、保育施設、高齢福祉施設等の関係者にも当該訓練への参加を計画し、新たな課題等の発見につなげたい。	たつの市	
					太子町	庁内関係部署への連絡訓練、関係機関への連絡訓練
					佐用町	
					宍粟市	
					相生市	
但馬	11月29日	圏域内の入院協力医療機関関係者、医師会、豊岡・朝来健康福祉事務所関係者等 21名	①講義「新型インフルエンザ発生時の医療体制の考え方」 ②意見交換「県内感染期の受け入れ体制について」	①新型インフルエンザ発生時の医療体制全般について理解を深めるとともに、圏域内での感染期の受け入れ体制について情報交換し、各医療機関の状況を共有することができた。 ②各医療機関において院内での調整等をすすめ、受け入れ体制整備の充実を図ることが必要である。	豊岡市	市役所内関係部署への連絡訓練
					香美町	
					新温泉町	
					養父市	
					朝来市	市役所内での情報伝達訓練
丹波	1月31日	圏域内医療関係者、管内医師会、管内市職員(防災・健康・福祉担当)、管内消防本部、県民局総務防災課担当、丹波健康福祉事務所 68人参加	1. 情報提供:「丹波圏域における新型インフルエンザ発生時の対応」 2. 外来協力医療機関での取り組み「〇〇病院における受け入れ体制について」 3. 講義「インフルエンザの予防と治療」 神戸大学病院 感染制御部部長 特命教授 宮良 高維医師	①医師会と協力したことで、これまでになく多くの開業医の参加があり、積極的な質問がある等外来医療機関としての受け入れ体制についての理解が深められた。 ②次年度は、県立丹波医療センターの開院し、第2種指定医療機関としての受け入れ体制や搬送方法等の体制整備が課題。	篠山市	
					丹波市	市役所内関係部署への連絡訓練
淡路	未実施				洲本市	
					南あわじ市	
					淡路市	